



第5回 生活支援コーディネーターカフェ

町内会発！お買い物支援が始まるまで…

～ネットワーク構築を活用した地域支援～

社会福祉法人 若竹大寿会

横浜市六角橋地域ケアプラザ 地域活動交流コーディネーター

原島 隆行

自己紹介



原島 隆行 (はらしま たかゆき)

【Date】

資格：社会福祉士・介護福祉士

【経歴】

(大学5年生は海外をバックパッカー)

2011年 社会福祉法人 若竹大寿会 入職
わかたけ青葉 ケアスタッフ

2014年 横浜市六角橋地域ケアプラザ
地域交流コーディネーター 異動

2022年 介護老人福祉施設わかたけ富岡
生活相談員 異動

NPO法人まち×学生プロジェクトplus 常務理事

【その他】

・学校法人 岩崎学園

横浜リハビリテーション専門学校 非常勤講師

・特定非営利活動法人よこはま地域福祉研究センター理事



買い物支援ネットワークができるまで…

▶取組みSTEP①～地域の基盤づくりと実践の蓄積～

【時期】2017年～現在

【主な活動】

「匠のつどい（民生委員×有志のデイサービス）」

「Route7プロジェクト（エリア版施設間連携会議）発足」



▶取組みSTEP②～町内会×有志のデイサービス～

【時期】2019年（START）

【主な活動】「中丸買い物支援ネットワーク（発足）」



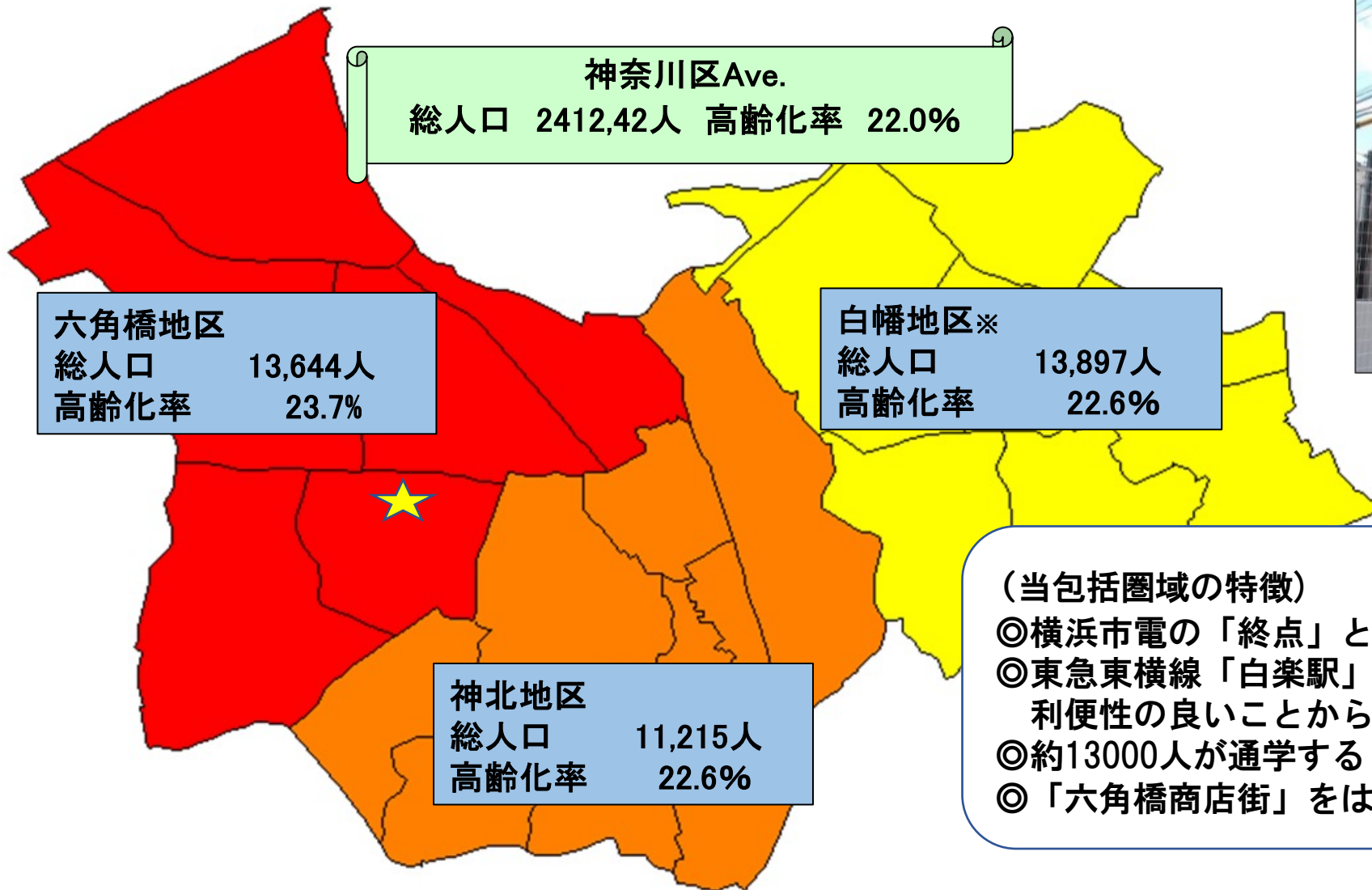
▶取組みSTEP③～他地区で応用可能なパッケージ化の推進～

【時期】2021年～（START）

【主な活動】「斎南お買い物支援ネットワーク（発足）」



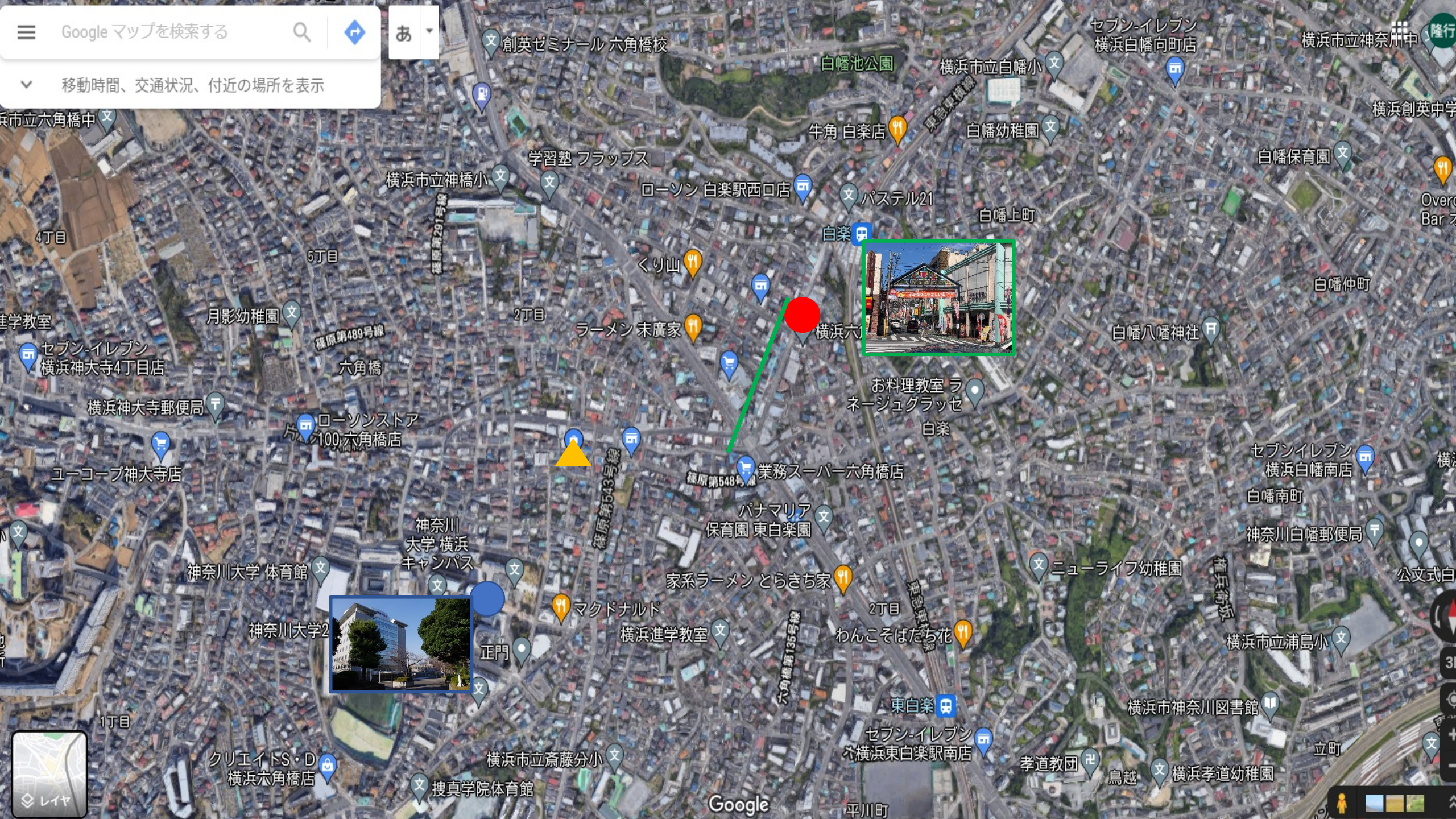
I. 六角橋地域ケアプラザについて



【施設の外観】

(当包括圏域の特徴)

- ◎横浜市電の「終点」として愛された町。
- ◎東急東横線「白楽駅」「東白楽駅」を抱え、都市部への利便性の良いことから近年、若い世代の流入も多い地区。
- ◎約13000人が通学する「神奈川大学」がある。
- ◎「六角橋商店街」をはじめ、商店や企業も多い地区である。



創英ゼミナール 六角橋校

白幡池公園

横浜市立白幡小

セブン-イレブン
横浜白幡向町店

横浜市立神奈川中

横浜創英中学

牛角 白楽店

白幡幼稚園

白幡保育園

学習塾 フラップス

横浜市立神橋小

ローソン 白楽駅西口店

パステル21

白幡上町

4丁目

5丁目

くり山

横浜六

白幡仲町

月影幼稚園

2丁目

ラーメン 末廣家

白幡八幡神社

セブン-イレブン
横浜神大寺4丁目店

篠原第489号棟

六角橋

横浜神大寺郵便局

ローソンスストア
片倉100六角橋店

ユーコープ神大寺店

業務スーパー六角橋店

セブンイレブン
横浜白幡南店

神奈川大学 体育館

神奈川
大学 横浜
キャンパス

パナマリア
保育園 東白楽園

神奈川白幡郵便局

神奈川大学2

正門

家系ラーメン とらきち家

ニューライフ幼稚園

マクドナルド

わんこそばたち花

横浜市立浦島小

1丁目

クリエイティブS・D
横浜六角橋店

横浜市立斎藤分小

捜真学院体育館

横浜進学教室

東白楽

横浜市神奈川区図書館

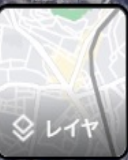
セブン-イレブン
横浜東白楽駅南店

孝道教団

鳥越

横浜孝道幼稚園

立町





Ⅱ. 取り組みのきっかけ(課題)

○2017年、厚生労働省から通知された

「介護予防・日常生活支援総合事業のガイドライン」には、
総合事業の基本的考え方として6つ示されました。

○6つの基本的考え方の中には「地域の高齢者の活躍の場」への
アプローチとして

①多様な生活支援の充実 ②共生社会の推進 が掲げられました。

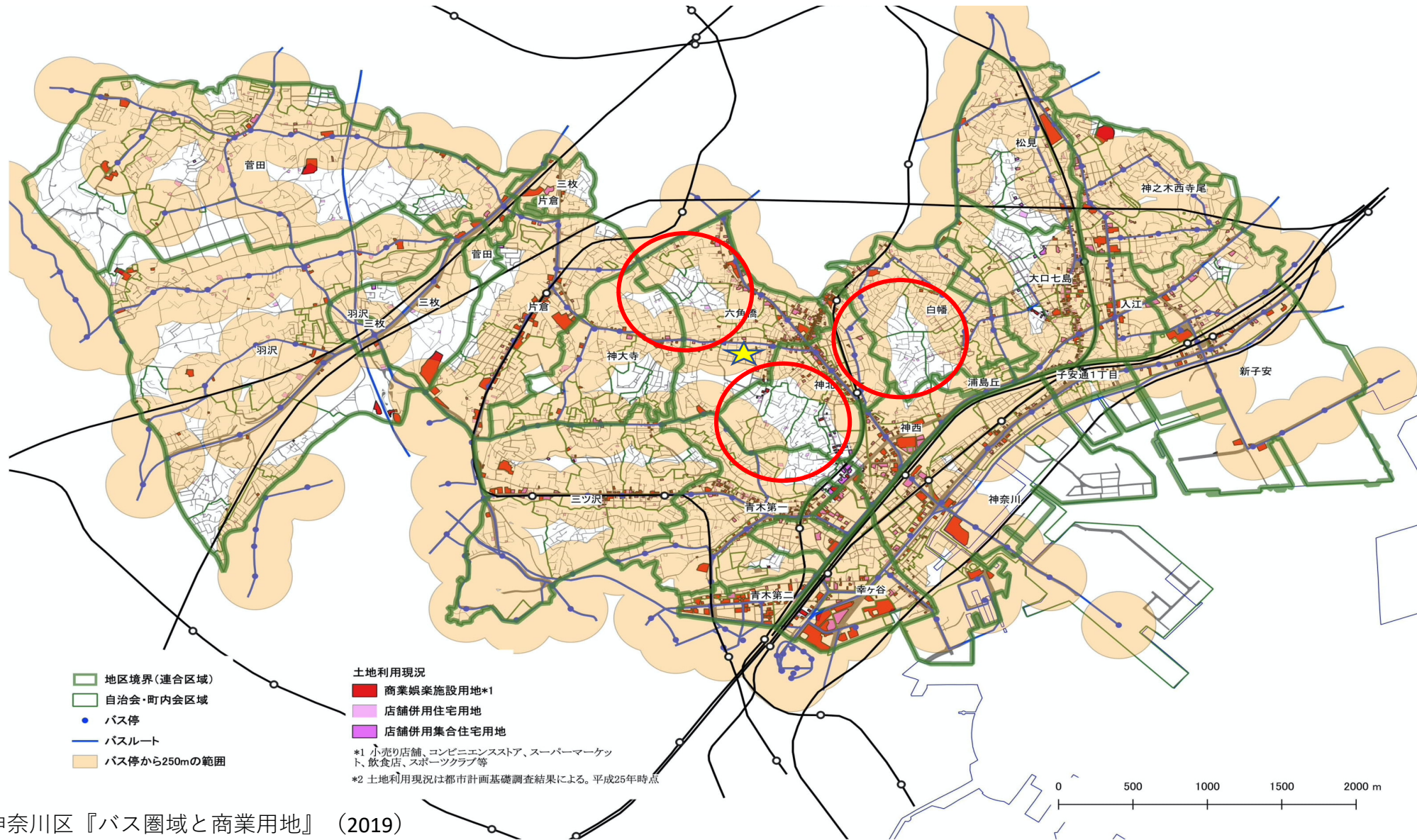


六角橋地域ケアプラザでは、
担当地区に求められる“生活支援”を把握する為、2014年から3年に1回、
独自に行っている「全単位町内会長ヒアリング(25単位町内会)」を実施しています。
当発表では、地域アセスメントからニーズを把握し実際に「町内会発！買い物支援シャトル」が
始まるまでの過程をまとめ発表します。



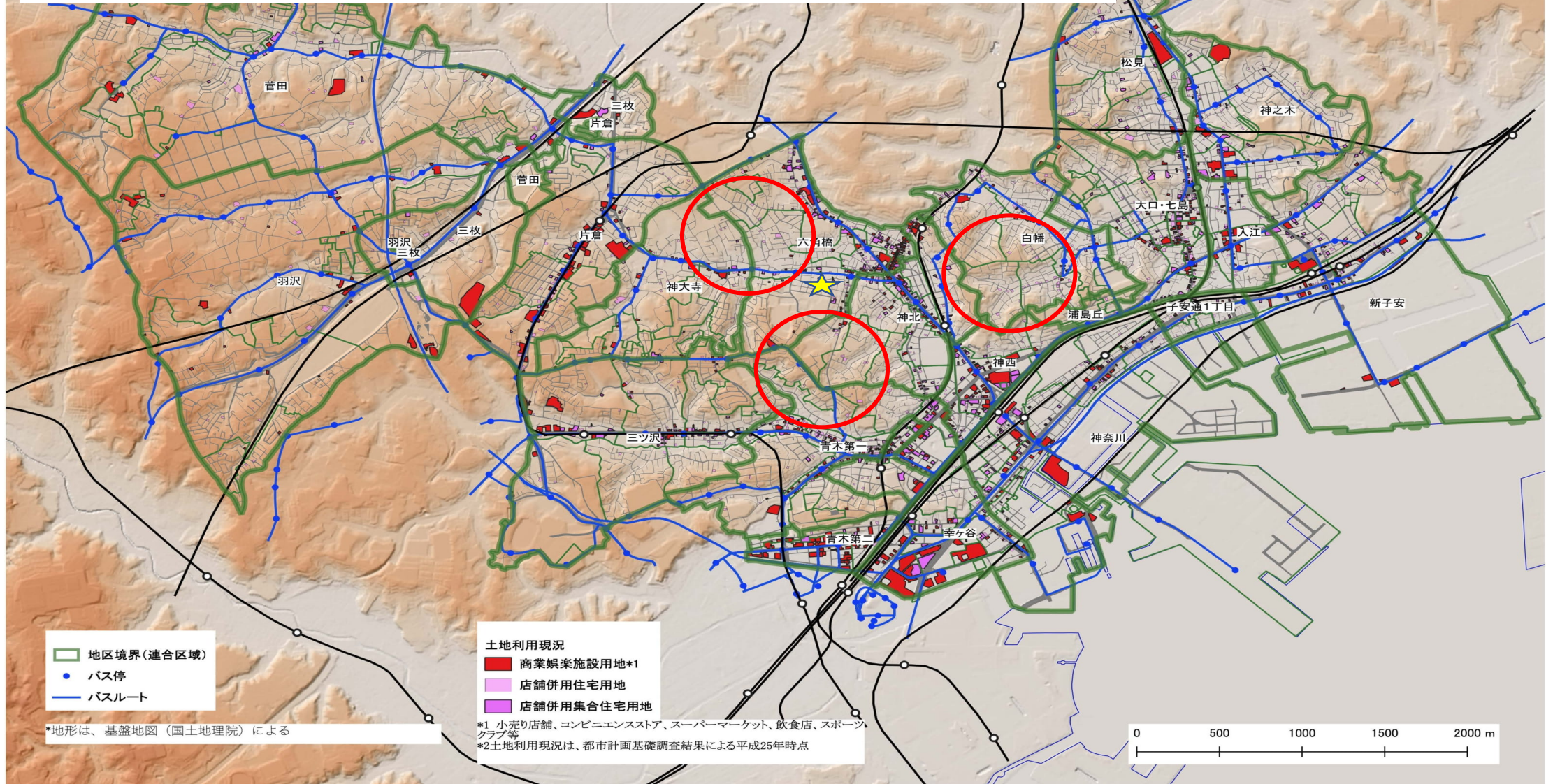
Ⅱ. 取組みのきっかけ(課題)

図 商業施設用地の分布





Ⅱ. 取組みのきっかけ(課題)



地域課題として買い物支援ニーズがあるのは解った...

「どうしたら？**何かから始めたらいいの？**」
(何かから手をつけていいかわからない)

「移動支援」を構成する要素を分解して考えてみよう！

① バス（車両）

② バス停

③ 知識（法律・制度）

= 買い物支援



《最初の壁》社会のあらゆる資源の活用・調整・支援…の前に、
「地域を知る」 「顔を覚えて頂くこと」

【其の一】～とにかく地域に出る！～ 「原島を探せば必ずいる！」作戦
地域で行われる会議やお祭り・研修会・サロン活動に年間200回以上参加



▶ 取組みSTEP①～地域の基盤づくりと実践の蓄積～



1

【課題①】「**バス**を“創り出す”」
「(地域×福祉事業所)匠のつどい」

【頻度】年4回

【参加者】

◎3地区民児協会長

◎有志のデイサービス事業者



【ポイント】

- ▶ まちの理解を得る
- ▶ (車両) を使わせてくれる協力者を探す
デイサービスの**送迎の空き時間**に注目！

2

【課題②】「**バス停**を“創り出す”」
「Route 7プロジェクト」

【頻度】隔月開催

【参加者】

◎地区センター

◎老人福祉センター

◎コミュニティーハウス

◎ケアプラザ 等



【ポイント】

- ▶ 施設の理解を得る
- ▶ (敷地) を使わせてくれる協力者を探す
市民利用施設の駐車場に着目！

3

【課題③】 「**社会の動きを学ぶ**」

▶ 介護予防・日常生活支援総合事業(厚生労働省)

▶ 道路運送法・福祉有償運送 等

▶ 取組みSTEP①～地域の基盤づくりと実践の蓄積～



4 【課題④】「経験を“仲間たち”と共に積む」

= **1** + **2** + **3**



「匠のつどい」の会場を
Route 7プロジェクトメンバーの施設で開催
▶参加者は送迎バス付



ケアプラザ文化祭×コミュニティーハウス文化祭
共催事業「文化祭バスツアー」実施



白幡地区社協主催地域イベント
「しらはた福祉まつり」送迎シャトル運営

→イベント（単発事業）での《送迎》が実施可能になりました

👉STEP②へ 【課題⑤】定期運行が可能な形を“創り出す”



(神奈川県では前例がない)

これは…必ず上手く行くとは保証できませんが、

「**泥船**に乗せてしまうかもしれませんが…

一緒に買い物支援チャトル作りませんか？」

(いきなり) 日常の足を創るのではなく、
月に1回タクシーの往復の料金 (約1500円) で

“ちょっと” 良いもの・ “ちょっと” ご褒美
を “楽しめる” お買い物支援を創り出そう！

▶ 取組みSTEP②～中丸町内会“買い物シャトル”の実施～



5 【課題⑤】「**定期運行可能な形**”創り出す”」

= 4 + 町内会

《中丸町内会“お買い物シャトル”の定期運行までの過程》

◎ 当該地区での買い物支援を検討する協議体

中丸買い物支援ネットワーク（2019発足）

【事業名】 中丸町内会お買い物シャトル
（トライアル）

【実施回数】 全4回

【実施時間】 13:00～16:30

※**デイサービスの送迎の空き時間**

【対象者】 中丸町内会の買い物に困っている方

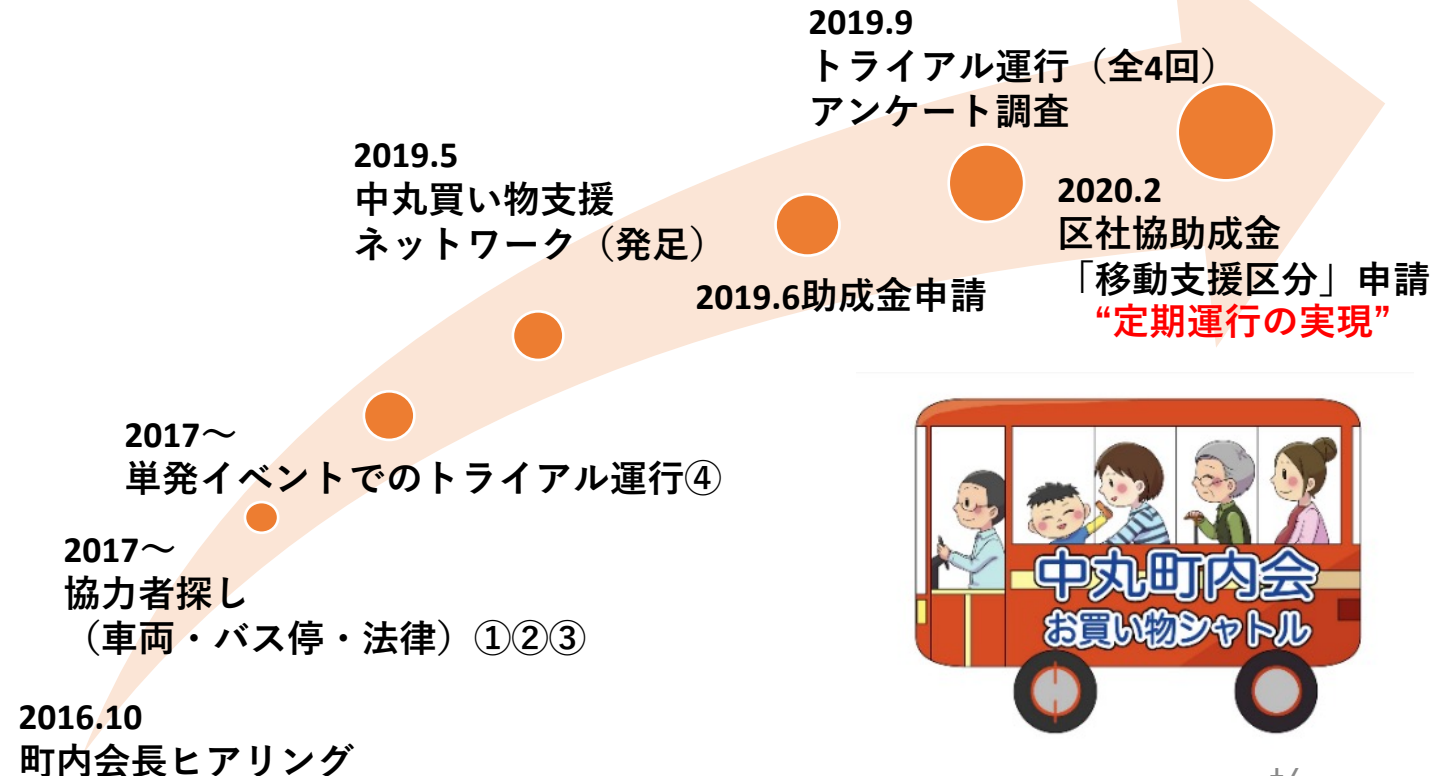
【買い物先】 スーパーマーケット

【役割分担】

町内会：周知・参加者募集・当日の添乗

デイサービス：車両提供・運転手

ケアプラザ：協議体・事業の運営補佐





▶ 取組みSTEP②～町内会×有志のデイサービス×ケアプラザ～

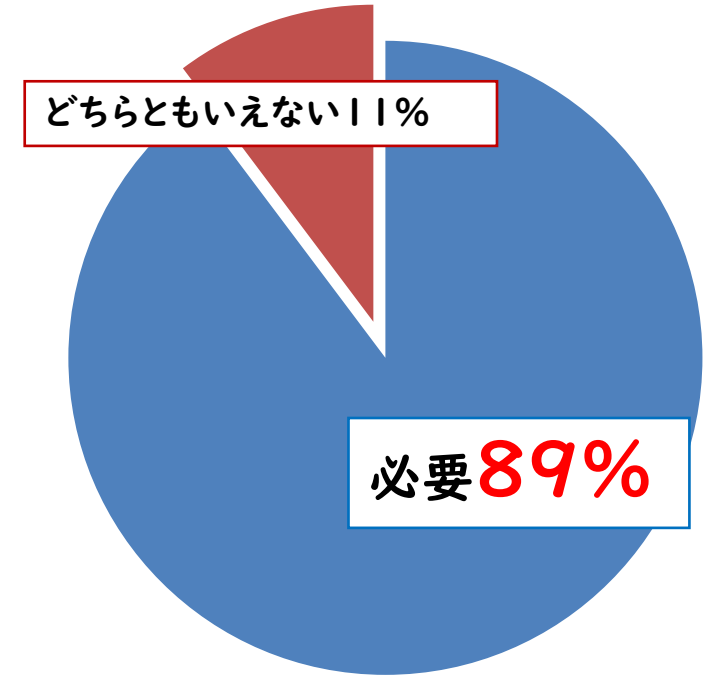
- 2019年度「中丸“お買い物シャトル参加者アンケート」《結果》
(全4回分 n=41)

i) 中丸町内会エリアに《買い物支援》が「**必要**」と回答された方

89%

ii) 参加者の年代

30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
2人	4人	2人	2人	13人	18人



【アンケートの結果】から、

中丸町内会に「買い物支援」を**必要**と感じている方が多くいらっしゃる事がわかりました。

そして、高齢者の支援を軸に考えていた「買い物支援」は、子育て世代(小さな子連れ・妊婦等)を含む幅広いの世代の方に必要とされている「支援」であるとの結果を得ることができました。



▶ 取組みSTEP③～他地区で応用可能なパッケージ化の推進～

しかし...中丸町内会エリア以外にも「買い物支援」を必要としているエリアがあるものの活動を広げる為には【課題】も見えてきました。

◎ 車両の確保が困難(自動車保険の課題)



当時は、移動支援サービスに対する専用自動車保険が無く、一般的なものでも自動車保険では、自動車の所有者が加入対象者となっていました。

→地元企業や福祉事業所等多くの施設に声をかけるも保険のハードル **高**



▶ 保険会社より「移動支援サービス専用自動車保険」販売 (2019)
※自動車保険の課題が解決した事で車両提供への不安・負担軽減

結果：
病院の送迎車両をお借りすることができ、他地区での「買い物支援：**齋南買い物支援ネットワーク**」が発足しました。

▶ 取組みSTEP③ ～他地区で応用可能なパッケージ化の推進～

定期運行開始まで **4年**

定期運行開始まで **1年**

2018～
単発イベントでのトライアル運行④

2017～
協力者探し
(車両・バス停・法律) ①②③

2016.10
町内会長ヒアリング

2019.5
中丸買い物支援
ネットワーク (発足)

2019.6助成金申請

2019.9
トライアル運行 (全4回)
アンケート調査

2020.2
区社協助成金
「移動支援区分」申請
“定期運行の実現”



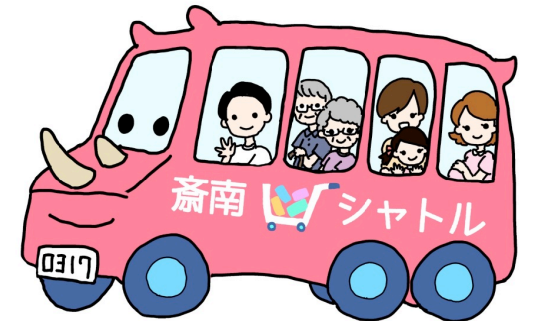
2021.3
人材マッチング報告会

2021.4
齋南買い物支援ネットワーク (発足)
定例会 (毎月開催)

2021.6 区社協助成金
(立ち上げ区分) 申請

2021.10
トライアル運行 (全4回)
アンケート調査

2022
区社協助成金
「移動支援区分」申請
“定期運行の実現”



【この結果】から、

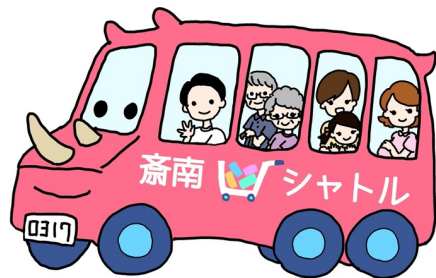
2016年当初、「何から手をつけていいか分からなかった“買い物支援”」ですが、多くの方の協力・理解を得え、少しずつ形になり現在では、町内会や福祉事業者の協力があれば約1年程度で実現可能なものとなりました。



今後の展開

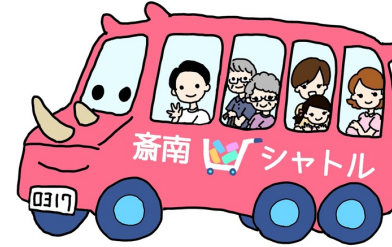
◎車両が無くては“始めたくても始められない”

地域貢献活動や社会貢献活動一環として車両提供に協力して下さる企業・社会福祉法人・福祉事業者・個人の皆様を幅広く募集していくことが必要です。(募集中)



◎買い物に困っているのは高齢者だけ??

買い物支援の取組みの中で、高齢者支援を起点としつつも対象の枠を絞らない支援の設定の重要性を感じる機会となりました。今後、期待される重層的支援体制整備事業を見据えた取組みへの発展の糸口があるように感じています。



ご清聴頂きありがとうございました

社会福祉法人若竹大寿会
横浜市六角橋地域ケアプラザ 地域活動交流コーディネーター
原島 隆行

